



サン人の研究倫理規範

南アフリカ・サン人協会 2017



尊重

わたしたちは、個人に対する敬意だけではなく、コミュニティに対する敬意も求めます。

わたしたちは、わたしたちの文化に対する敬意を求めます。これには、わたしたちの歴史も含まれます。わたしたちには、他には知られていない特有の繊細な文化があります。あらゆる研究努力のあらゆる段階において、敬意が示されれば、わたしたちはこうした繊細な文化について説明することができます。

わたしたちの文化に対する敬意には、わたしたちと環境との関係に敬意を払うことが含まれます。

個人に対する敬意には、常にわたしたちのプライバシーを保護することができます。

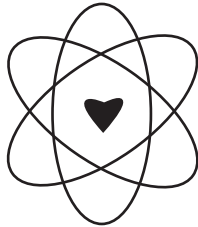
敬意には、研究に対するわたしたちの貢献が常に認識されることが含まれます。

敬意には、研究者が約束した事項を守ることが含まれます。

敬意を払う研究者は、研究を実施する前にわたしたちと関わりを持ちます。提示された研究プロジェクトが何であれ、サン人が自動的に承認すると思いついてはいけません。

過去、わたしたちは敬意に欠けた多くの事例を見てきました。ゲノミクス研究において、わたしたちのリーダーは避けられ、彼らに対する敬意は示されませんでした。研究者たちは、わたしたちの社会的慣習や規範を無視して、それぞれの家で個人の写真、授乳中の母親の写真や未成年の子どもたちの写真を撮影しました。賄賂やその他の便宜が提供されました。

研究者がフィードバックを提供するという約束を守らないことも、敬意を欠く行為としてよく見られるものです。



誠意

わたしたちは、研究提案を持ってわたしたちを訪れる全ての人に誠意を求めます。

わたしたちは、研究者とわたしたちのリーダーとの間において、開かれた、明瞭なやりとりを求めます。分かりやすい表現を用い、学術的な表現であってもなりません。複雑な問題は、慎重かつ正確に説明すべきであり、サン人には理解できないと容易に決めつけてはなりません。完全に信用できる情報共有を行わなければなりません。

開かれたやりとりを行い、サン人に対して偉そうな態度を取るべきではありません。開かれたやりとりとは、研究の結果として起こりうるサン人に対する損害や問題について評価が行われること、こうした起こりうる損害が誠実に伝えられることを意味します。

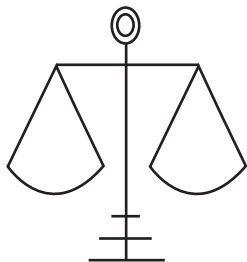
事前のインフォームドコンセントは、誠意あるコミュニケーションにのみ基づき、慎重に文書化される必要があります。誠意はまた、財政状況、研究目的、研究過程で起こりうる変更点を含む、約束事項のあらゆる側面における、絶対的な透明性も意味します。

誠意には、サン人と研究者との間の開かれた、継続的なコミュニケーションが求められます。

過去、わたしたちは誠意に欠けた多くの事例を見てきました。研究者が定められた研究目的から逸脱して、発表前にサン人に研究を見せるという約束を守らず、若いサン人の実習生に対する誘導尋問に基づいた、偏った論文を発表したことがあります。誠意に欠けたこの行いは、一般の人々の間に大きな損害を招き、協力機関とサン人との信頼関係を損ないました。

もう一つの誠意に欠けた行いとして、研究者の資金不足について誇張された主張がなされ、利益がまったく提供されないことがよくあります。

公正 ・ 公平



わたしたちは研究における公正と公平を求めます。

サン人が提案された研究に有意義に関与することは重要であり、これには参加者とコミュニティが期待する利益について理解することが含まれます。これらの利益は主に非金銭的なものであり、例を挙げると、共同研究の機会、技能と研究能力の提供、通訳や研究アシスタントの役割などです。

これらの利益が確実にコミュニティに還元されるように、サン人と議論すべきです。

公正と公平の一環として、サン人は紛争解決制度の利用も含め、本規範のいかなる違反も取り締まるように努めます。

極端な例として、非倫理的な研究者を「ブラックブック」に載せ、公表することを検討する可能性もあります。本規範を遵守しない研究者が所属する機関は、その後の研究において協力を拒否される可能性があります。このように、本規範を遵守しない研究者に対しては、相応の「対応」がなされます。

過去、わたしたちは公正と公平に欠けた多くの事例を見てきました。これには、研究者によるサン人の伝統知識の盗用が含まれます。加えて、南アフリカを含めた世界中の多くの企業が、利益共有契約も締結せずに、原産の植物品種の販売で、わたしたちの伝統知識から利益を享受しています。このことは、公平を確保するためのさらなる遵守措置の必要性があることを示しています。

配慮

研究は現地のニーズと合致する、サン人の生活を向上させるものでなくてはなりません。これは、関与する人全員、特にサン人のコミュニティに配慮しながら、研究を実施しなければならないことを意味しています。

研究における配慮は、社会的および物理的環境だけではなく、関与する人の家族まで含めなければなりません。

研究がサン人にとって好ましく、配慮あるものであるためには、それが卓越した研究であることも必要です。高水準に満たない研究では好ましくない交流が行われる場合があり、コミュニティに対する配慮に欠けることになります。

配慮のある研究では、サン人をありのままに受け入れて、この倫理規範の文化的および社会的要件に注意を払わなければなりません。

過去、わたしたちは配慮に欠けた多くの事例を見てきました。例えば、見下した態度で話されたり、複雑な科学的表現に困惑させられたり、無知であるように扱われたりもしました。サン人の生活を向上させるものを何も残さないこともまた、配慮の欠如を表します。



プロセス

この倫理規範が機能するには、研究者がわたしたちの研究プロトコルが定めるプロセスに慎重に従う必要があります。

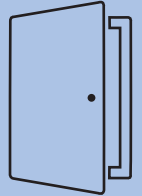
サン人議会が管理するサン人の研究プロトコルは、わたしたちが決定した重要なプロセスで、研究の各段階における特定の要件を定めるものです。

このプロセスは、共同でデザインされた研究アイデアに始まり、プロジェクトの承認を経て、その後の発表まで続きます。

サン人は、研究者と公平な関係を持ち、その資源が許す限り、研究プロセスの全段階において効率的に管理を行うことを約束します。サン人のリーダーとサン人のコミュニティ間のコミュニケーションにおいて、様々なサン人の現地機構（共同財産組合（CPA）、CPAリーダーなど）に対して敬意を払うことも約束します。

2016年に亡くなるまでこの倫理規範に貢献していた、尊敬すべきサン人のリーダーのAndries Steenkampは、研究者に対して窓ではなくドアから入ってきてほしいと言っていました。

ドアとはサン人のやり方を意味します。研究者がドアを尊重すれば、サン人はわたしたちにとって好ましい研究に関与することができます。



窓口：admin@sasi.org.za

South African San Institute, 4 Sanda Park,
Platfontein Farm, Barkly-West,
Kimberley Road, Kimberley,
Northern Cape, South Africa (南アフリカ)

